

羅針盤 (進路便り)

京都市立梅津中学校
第16号
R7.11.28(金)

志願者状況

10月三者懇談時に進路希望調査を提出してもらいました。同時に京都府全域の中学3年生の希望を調査していてそれを集計したものを配布します。自分の志望校にどれだけの希望者がいるのか確認しておきましょう。

ただし、この資料は府内全域の中学3年生が見ている資料です。「自分の志望する学校に希望者が多いため変更しようかなあ」、「希望者が少ないからこの学校にしようかなあ」といった考えを持つ人もいるかもしれません、その気持ちもみんな同じです。でも今回の進路希望はお家人や担任の先生と相談し、自分で確固たる思いで決めた希望先です。この情報を元に、一時の感情だけで進路先を変更することはやめておきましょう。もちろんこれを見て、悩んだり、不安になったりしてしまう事はあると思います。そんな時はお家人や担任の先生に相談するようにしましょう。進路希望（受験校）の決定は12月懇談（約3週間後）の時です。定期テストも終わり、自分の成績を見るまでは落ち着かないかもしれません限られた時間を有効に活用しましょう。

◎進路希望状況について

配付した資料について少し解説をしておきます。

京都府内には来年3月に21,447人の卒業生予定者（現在の中学3年生）がいます。その中で11月10日時点で高等学校に進学を希望する生徒が20,222人。現時点での第一希望として京都府公立高校進学を考えている生徒が全日制10,625人（49.5%）、定時制337人（1.6%）います。この資料からはさまざまな憶測ができるが自分勝手な想像（特にマイナス面で捉える人が多いと思いますが）をしたところで、その想像から確かな答えを導き出す事はできません。これをもとに色々な情報が交錯するとは思います、不確かな情報に惑わされないようにしましょう。

☆履歴書を書いてみよう

今日は今から自己PR書を書いてもらいます。12月に入れば私学入試や大学入試でもWeb出願の機会が増えており、文字を書く機会が減ってはいます。しかし氏名、生年月日、住所、保護者名等は楷書で正確に書けるようにしておきましょう。特に願書は人物よりも先に高校の先生に見ていただく書類になります。書いた文字によって相手に与える印象が変わってきます。日頃から丁寧な文字を書くように心掛けましょう。

（※実際の願書（Web願書含む）は12月の懇談以降に準備に掛かります。）

次号の羅針盤でお伝えします。）

●面接練習

すでに面接練習を学級内で始めています。年明けには中学校内で本番さながらに練習をします。質問の答えをノート等に作り、準備を進めておきましょう。公立第一志望の人は「求める生徒像」が言えますか？